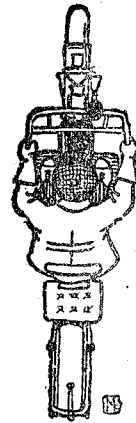


通信

紐育より



警視廳警視 藤岡長敏

武井君足下

アメリカに來てから相當なぐくなりますので此の十九日の船で愈々英國に渡ることに致しました。

こちらに参りましたから、多少方々で交通整理の方法を見又色々の人の意見を聞いてもみましたが、別段變つた方法もない様でございます。

目下アメリカに於きましては、自動燈火信號に依る斷續

整理法が全盛でございまして、紐育市に於きましても、フイフスアベニウの信號塔が撤去せられ、シンクロナイズせられた燈火信號が建設せられつゝあります。聞くところによりますと、本年中には紐育市中マンハッタン區だけは全部シンクロナイズシステムにせられるそうでございます。

一等進歩した整理法であると一部の人人に稱せられてゐるプログレッシブシステムも、ワシントン及びブルックリンで見ましたが、自動車交通のみのしかもスルウトラフィックの多い道路に於ては或は適當かもしれませぬが、まだ日本の道路で應用せられそうには思はれませぬ。又シンクロナイズシステムも、東京の様に路面電車の多い都會に於ては適當でないことは、クリーブランド市の實例に依つて明かだと存じます。(シンクロナイズシステム及プログレッシブシステムのことは、昨年差上げました交通整理の話と題する小篇に書いて置きましたから、或は御覽下さいましたかと考へます。)

最近發明せられた自動信號機に、エレクトロ、マチックと稱するものがございます。現在では僅にニウヘブンその他數ヶ所で試験的に使用せられてゐるのみで、まだあまり行き直つては居りませぬが、先日エノー氏と一緒にその實際を見に参りましたから、これのお話を多少申し上げやうと存じます。

此の信號機はシンクロナイズシステムの様に各交叉點が一齊に「進め止め」と信號せられるのではありませぬから路面電車の電力に對するピークロードを多くする虞はありませぬ。又個別的自動信號機の様に、個々まちまちに機械的週期を以て「進め止め」が信號せられるのではありませぬから、風邪の患者にも脚氣の患者にも同じ藥で治療してゐると同様だと云ふ非難は免れることが出來ると考へます。即ち別紙説明書で御覽になります様に交叉點の手に於て道路上にスキッチを敷設し、その上を車馬が通過することに依つて、その車馬に都合の好い様に或る時間「進め」の信號が現はれる様に考案せられたものです。即ち賢明な交通巡査の行ふ信號を機械的に行はしめやうとするものでございます。ニウヨーク市内の如く双方の交通量が非常に多いところに於ては此の機械も太してその機能を十分發揮しないかも知れませぬが東京の様にあまり交通量の多くない都市に於ては一等適合しい設備だと考へました。

唯故障が起り易くはないかと考へるのですがニウヘブン

の警察當局では、据えつけてから一年以上にもなるが別の故障は起らなかったと云つて居ります。

此の信號機の製作工場も見ましたが、相當盛に製造をつとけて居ります。又此の會社では自動交通量計算機を發明致しまして、最近發賣することになつたそうですから、その説明書をついでにお送り致します。

私は別に會社のコンミツションを受けて提灯を持つわけではありませぬことを附言して筆を擱きます。

(説明書は次號に登載)



漫 語 ま じ

初夏の朝まだき往來の埃りも捲き揚らないころ、歩道をとぼと歩みながら見るともなしに側溝へ眼を落す、佛壇の花立の破片、破れ帽子、新聞や引札いろいろのものが點在してゐる、之れも世相の片影か。

郊外の町村は、埃抑へに路傍の溝板を片寄せ長柄への柄酌で汚水を振りまく位のものであつたが、自動車通行頻繁の今日、二階で目ぐすり位のき、目もない、其處で出現したのが武蔵野撤水何々會社、之れも道路交通の繁みに由る世態の一相。

中華全國道路建設協會宣言の一節

道路は文明の母なり、財富の脈なり、試に世界今日最文明の國を觀るに、即ち道路最多の國これその明證なり、地方自治と實業の發達とを圖らんと欲せば、大いに道路を修むるにあらざれば功を爲さず、道路所經の地、人口之が爲に繁盛、地價之が爲に増加か、産業之が爲に振興、社會之が爲に活動道路は地方の文野貧富の由關する所なり、旨哉斯言高瞻遠矚萬古同じく歎すと。善哉、善哉